

転倒防止バー 格納式

段差を越える際に転倒防止バーがじゃまにならないように、内側にたたむことができます。座面高、使用者の身体状況にあわせて転倒防止バーの高さを調節することができます。



注意

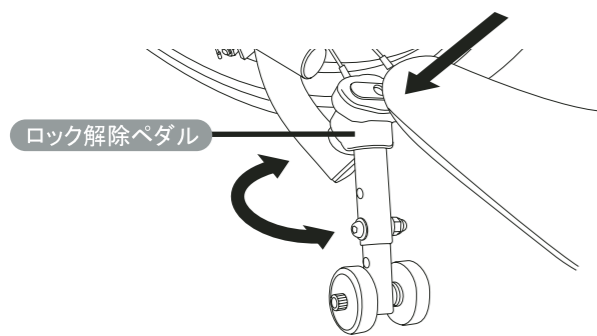
- 操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけ、平坦な場所で行なってください。
- 転倒防止バーは左右とも同じ高さに調節してください。
- 座面の高さおよび駆動輪・主輪の前後位置を変えたときは、必ず転倒防止バーの高さ調整を行なってください。

● 格納のしかた

ロック解除ペダルを踏み込みながら、内側前方に向かって回転させます。

● 展開のしかた

- ① 転倒防止バーのロック解除ペダルを踏み込みます。
 - ② 内側後方に向かって回転させます。
- ※転倒防止バーがロックされているか、ご確認ください。

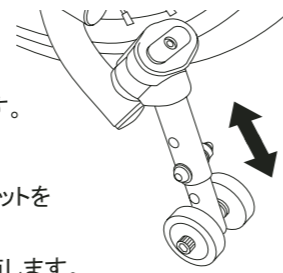


● 高さ調節のしかた

高さ調節用穴(2箇所)を使用して調節します。

使用する工具 **4mm六角レンチ** **5mmスパナ**

- ① ボルトを六角レンチ(4mm)で固定します。
② スパナ(5mm)でナットを外取します。
- ① 車輪部を上下にスライドさせます。
② 適正な位置に調節します。
- ① ①で取外したボルトとナットを取付けます。
② 反対側も同じ高さに調節します。
※転倒防止バーの車輪が駆動輪・主輪より後方に位置するように調整してください。



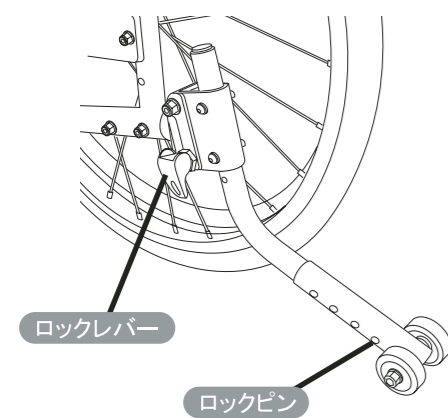
転倒防止バー 可倒式

段差を越える際に転倒防止バーのロックを解除して、そのまま前輪を浮かせることができます。座面高、使用者の身体状況にあわせて転倒防止バーの高さを調節することができます。



注意

- 操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけ、平坦な場所で行なってください。
- 転倒防止バーは左右とも同じ高さに調節してください。
- 座面の高さおよび駆動輪・主輪の前後位置を変えたときは、必ず転倒防止バーの高さ調整を行なってください。



● 使い方

ロックレバーを引き起こして、転倒防止バーのロックを解除します。そのまま、キャストを浮かせて、段差を乗り越えます。

転倒防止バーを戻すときは、ロックレバーを倒した状態で、カチッと音がするまで転倒防止バーを押し込み、ロックさせます。転倒防止バーが、確実にロックされているか、手で触って確認してください。

● 高さ調整のしかた

ロックピンを指先で押し込みながら、転倒防止バーの高さが適正な位置になる穴位置に調節してください。ロックピンがバネ力で戻り、確実にロックされているか、手で触って確認してください。

製造元



株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号



ご使用前に本書と別冊「NOVA」取扱説明書を必ずお読みになり、十分に理解された上でお使いください。また、本書はいつでもご覧いただける場所に大切に保管し、利用者の身体状況・環境の変化に応じて再読してください。

使用目的 特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗しての移動と、休息を目的としています。

本製品は、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用標準型車いすです。日常生活用に設計されており、特殊な使用目的(スポーツ・入浴など)のものではありません。

はじめに

本製品には、NOVAⅢ・NOVAⅢminiの2つの仕様があります。標準機能のほかに、必要に応じてお選びいただけるオプション機能があります。機種ごとに装備内容内容が異なりますので、ご注意ください。

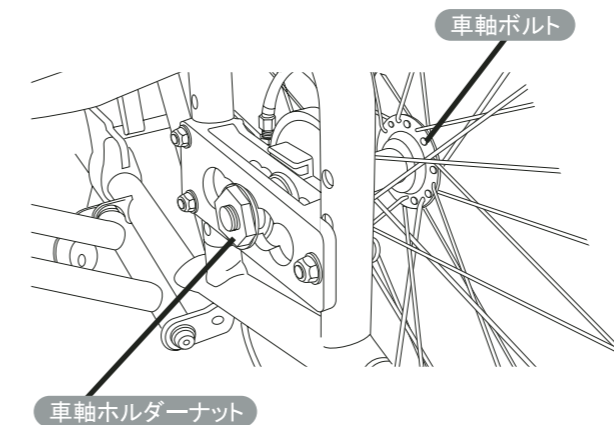
各部の調節のしかた

後車輪の前後位置を調節する(固定車輪の場合)

電動ユニット装着の場合は、後車輪の前後位置の調節は不可になります。

使用する工具 **19mmスパナ** **モンキースパナ**

- ① 車軸ボルトをスパナ(19mm)で固定します。
② 車軸ホルダーナット(27mm)をモンキースパナで緩めて取外します。
③ 車輪を引き抜きます。



- ② ドラムブレーキ(装着の場合)、スリーブ、固定軸用スリーブを取外します。

- ③ 車軸ブラケットの任意の位置にスリーブ、固定軸用スリーブをセットします。

- ④ ①車軸にドラムブレーキをセットします。(装着の場合)
②車軸ホルダスリーブに差し込みます。
※ドラムブレーキスペーサーの爪が車軸ブラケットのレールに引っかかるようにセットします。

